

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業		事務事業名 妊婦保健事業	
区分	番号	名称	
章	1	やさしさと共生するまち	
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる	
施策	2	保健予防活動の充実	
小分類	2	母子保健の充実	
主要な施策	1	妊産婦や乳幼児の保健指導の推進	
事務事業番号	005	事務事業コード 12221005	事業開始年度 平成 9 年度 事業終了年度 平成 - 年度
会計種別	一般会計		予算書上の事務事業名 妊婦保健事業
部 名	保健福祉部	グループ名	健康推進 G
統合前または名称変更前の事業名	妊婦健康診査事業、妊婦保健指導事業		

事務事業の目的と成果	
目的	(事務事業の実施目的を具体的に記載してください) 妊婦の健康管理の充実及び経済的負担軽減を図り、安心して妊娠・出産ができる環境を整備する。
手段 (事業の内容・活動)	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 妊娠届出時に住民票のある妊婦に対し、母子健康手帳交付と同時に健診費用が助成される妊婦一般健康診査受診票等を交付する。 妊婦一般健康診査受診票 14回分 超音波検査受診票 4回分  順調な妊娠期を過ごし、安心して出産・育児ができるように親としての準備を図り、すこやかマタニティ教室を実施する。 保健師による沐浴・おむつ交換・抱き方等の実習体験、家族の妊婦疑似体験、先輩ママとの交流会・栄養士による食生活についての指導  年3回 (4日間) 実施人数 55人
成果	(事務事業の実施成果を具体的に記載してください) 健診費用にかかる経済的負担が軽減され、妊婦が定期的に健康診査を受け、妊娠中を順調に過ごし、安心して出産することができる。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください) 母子保健法

指標の推移							
区分	単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	妊婦一般健康診査受診数	目標値	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900
		実績値	3,743				
		目標値					
		実績値					

## 事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円	7,628	9,513	8,425			8,425
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	13,693	16,580	14,584	14,584	14,584	43,752
合 計			21,321	26,093	23,009	14,584	14,584	52,177
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	1,079	1,108			
		嘱 託 員	千円	39	42			
		臨時職員	千円	83	42			
		合 計		1,201	1,192			

## 担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である	妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？
	→	妥当ではない	
母子保健法第13条により市が行う事業として位置づけられていることや国の生活対策として通知のある事業である。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている	成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？
	→	どちらかといえばあがっている	
	→	成果があがらない	
健診にかかる経済的負担の軽減、妊娠中の健康管理を維持できる。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる	どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？
	→	少し向上させることができる	
	→	向上させることはできない	
妊婦一般健康診査受診票等の交付時に安全な妊娠・出産の確保ができるよう健診の受診勧奨をする。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる	どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？
	→	削減できない	
健診単価は北海道医師会と道内市町村との集合契約で決定されることから、経費削減は難しい。			

## 担当グループによる評価

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	健診費用にかかる経済的負担の軽減や安全な妊娠・出産を確保するために、継続して実施することは必要である。
-----------	----------------------	---

## 総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>維持</b>	備考
-----------	----

### 評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）